

【様式1】

団体名 糸満市立 兼城こども園	連絡先 TEL : 098-994-7914 Eメール : kanekodomo@city.itoman.lg.jp
---------------------------	---

1 実践事項

タイトル:「地域の幼児教育施設と小学校との連携した接続期カリキュラムの作成」

2 実践内容

- 幼児期の発達と学びの連続性を考慮した保育実践
 - ・こども達が主体的に遊びに取り組み、試行錯誤できるような環境の構成や援助の工夫を行う。
- 校区の接続期カリキュラム作成
 - ・校区内の幼児教育施設（こども園・保育園・幼稚園）と小学校が協力し合い、兼城校区の接続期カリキュラムの作成を行う。
- 小学校との交流活動
 - ・小学校の運動会練習（1年生）見学や5年生とのゲーム遊び交流を行う。
 - ・小学校授業参観への職員の参加

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



5年生とのゲーム遊び交流



運動会練習見学



小学校授業参観への参加



小学校・幼児教育施設の職員での接続期カリキュラムの作成

4 成果

- ・幼小接続期カリキュラム作成の取り組みを通して、各園の教育や保育内容を校区全体で把握、共有することができ、連携を深めることができた。
- ・小学校1年生の運動会練習を見学し、昨年の修了児の頑張っている姿やかっこいい姿を見たり、5年生と一緒にゲームコーナーを楽しんだりしたことで、小学生のお兄さんお姉さんへの憧れや親しみが強くなった。また小学校の様子を実際に見ることで、小学校生活への期待が膨らんでいた。

5 課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、幼小の連携を十分に図ることができなかったので、コロナ渦でも情報共有しながら連携を進めていける方法を探っていく。
- ・小学校の授業参観や交流活動の際には、こども園と小学校の職員で事前の打ち合わせや事後の振り返りを行い、こどもの育ちや保育・教育内容について理解を深めていきたい。
- ・今回作成した接続期カリキュラムの活用を図っていく。